

菅原神社の鳥居扁額 落下し粉々に 鳥居の石柱にも亀裂見つかる



菅原神社の鳥居扁額（石製）が11日夜、落下し粉々に割れました。当時、境内には泉獅子舞の練習に子供たち10人近くがいましたが、幸いけが人はおらずホッとしています。また、鳥居の石柱（御影石製）も両側に亀裂が入って割れており、このままでは危険な状態で、安全対策が急がれています。

『國造神社正誌』によると、菅原神社は明治39年12月に現在地に遷座し、社殿は翌年8月に新築されたもので、鳥居は大正9年4月に氏子中によって寄進され、中央に掲げられていた「菅原神社」銘入りの扁額は昭和10年9月に氏子有志29人が寄進した記録が残っており、鳥居は今年99年、扁額は84年経つ年代ものです。

